

I N A C H O ROTARY WEEKLY NEWS

事務所：長野県伊那市西町 5016-2 電話 0265(76)5858 例会日：毎週火曜日 例会場：海老屋料理店 0265(72)2158
会長：熊谷 健 副会長：井上 修 幹事：小椋文成 公共イメージ向上委員長：太田明良

 <p>ロータリーの マジック</p>	<p>2024-2025 国際ロータリーのテーマ ロータリーのマジック</p>	<p>2024-2025 RI会長 ステファニー A. アーチック <米国ペンシルバニア州></p>	
<p>第1725回例会 令和6年12月24日 (火)</p>			

■ 点 鐘 12:30

■ ソング それでこそロータリー 加藤篤ソングリーダー



■ ゲスト・ビジター紹介

- ・支援留学生 キョ ブンクン 様
- ・支援留学生 エムディ・バディウル アラム 様



■ 会長談話 熊谷健会長



メリークリスマス！ 今日12月24日は、クリスマスイブです。
ご存じのとおり、クリスマスは、イエス・キリストの誕生を祝う日で、キリスト教徒にとっては最も重要な祭りのひとつとされています。イエスがもたらした愛・希望・平和のメッセージを思い起こし、祝う日として有名です。

仏教を主な宗教とする日本でも、昔からクリスマスは馴染み深い日で、クリスマスツリーを飾り、クリスマスケーキを囲み、サンタクロースが子供たちに贈り物を届ける日として定着しています。

第1次世界大戦中の1914年12月24日から25日にかけて、西部戦線の最前線で戦争をしていたドイツとイギリスの兵士たちが、一時的な停戦をして、共にクリスマスを祝ったという「クリスマス休戦」という話があります。

両軍の兵士たちは、戦死者の遺体を回収し、合同埋葬式を行ったそうです。また、酒やタバコ、チョコレートといった品物の交換や、記念写真の撮影などで共にクリスマスを祝ったということが伝えられています。

戦争という国家間の争いの中で、敵と味方に分かれて戦っていても、クリスマスだけは、同じ人間として、愛と希望と平和をとともに祝おうとする兵士たちの気持ちを思うとき、戦争という行為が、如何に無益で矛盾

に満ちた愚行だと思わざるを得ません。

戦争とクリスマスといえば、私にとって忘れられない映画があります。ご存じの方も多いと思いますが、大島渚監督の「戦場のメリークリスマス」という映画で、当時交流のあった、私の一つ先輩が助監督を務めていたということもあり、すごく思い入れのある映画です。戦争映画なのに戦闘場面が一切ないという映画です。

映画の内容は、第二次世界大戦下のジャワ島を舞台に、日本軍兵士と、日本軍の捕虜となっている連合軍兵士とが、東洋と西洋の価値観や習慣の違いがぶつかり合い、互いに戸惑いながらも、次第に友情が芽生えていきます。

その後、日本が敗戦国となり、日本軍兵士と、連合軍兵士の立場が逆転します。立場が逆転しても、お互いの間に生まれた友情は、変わらずに保たれるのか？極限状態の中で、国家や人種を超越して、人間はお互いを認め信頼し合えるのかという究極のテーマを描いた作品だと思っています。

特に、捕虜収容所の現場責任者であるハラ軍曹（ビートたけし）と、捕虜のイギリス軍ロレンス中佐との関係は、この映画の中で象徴的な役割を担っています。戦争中のあるクリスマスの晩、ハラは、処刑が予定されていたロレンスとセリアズ大尉に恩赦を与えます。酒に酔ったハラは独断で、「私はサンタクロースだ。」と言って独房に居た二人を釈放するのです。ハラは、収容所で通訳の仕事をしていた捕虜ロレンスに対して、敵味方の関係を越えて、信頼感を寄せていたのです。

時は移り、映画の最終番、戦犯として処刑される運命にあるハラは、処刑直前にロレンスに面会を求めます。二人の立場は逆転しています。二人は、しばし会話を交わし、お互いの立場を分かち合います。別れ際、ハラ軍曹がたどたどしい英語で「メリークリスマス・ミスターロレンス」と叫ぶシーンは有名ですが、涙もろい私は、いつもその場面で泣いてしまうのです。

どうか、時間のある方は、一度鑑賞していただければと思います。

さて、今年最後の例会となります。インフルエンザやコロナもまた流行していると聞いています。皆さん、お身体を大切によいお年を迎えて下さい。

■ ニコニコボックス

- ◆熊谷健 キョ ブンクンさん、本日は卓話をよろしくお願ひいたします。
本日は今年最終例会となります。半年間大変お世話になりました。引き続き来年もよろしくお願ひ致します。
- ◆小椋文成 メリー クリスマス！
会員の皆様には一年大変お世話になりました。インフルも流行っているようです。お体に気をつけて良い年をお迎え下さい。
- ◆伊藤かおり キョさん、アラムさん、今日もお越し下さりありがとうございます。キョさん、卓話楽しみにしています。
インフルエンザが蔓延しています。皆さん体調に気を付けてお過ごし下さい。
- ◆杉本徳治 メリー クリスマス！
キョさん、アラム君、ようこそお越し下さいました。楽しんでいって下さい。
キョさん、本日のクラブフォーラム宜しくお願ひします。
- ◆澁谷恵二 みなさんのおかげで無事クリスマス家族例会ができました。ありがとうございました。

■ 幹事報告

小椋文成幹事

幹事報告は別紙をご覧ください。

■ 委員会報告

・12月21日(土) 地区インターアクト委員会・顧問教師連絡会の報告

井上修地区インターアクト委員(代読:小椋文成幹事)



2024年12月21日(土)に10時より14時まで、塩尻志学館高校で行われた第二回2600地区インターアクト委員会&顧問教師連絡会の報告です。

参加者は18名。小池IA委員長(信州友愛RC)、竹村副委員長(茅野RC)を座長に自己紹介から各校の独自研修報告、上半期の反省等活発な議論が行われました。

当クラブ関連は伊那西高・笠原先生が出席。独自研修は伊那西高校は二つの研修を企画、しかも生徒主導による伊豆の総合高校との高校生同士の掃除研修が異彩を放っていました。

海外も活発で東海大諏訪のタイ研修、松本第一の台湾研修などがあります。

現在、インターアクト生は120人、3年生が94人卒業し新入生待ちです。

来年の4月に全国インターアクト研究会が長野で行われます。4月25日のガバナーナイトを含め26日、27日の三日間です。前は神戸(桑澤パストガバナーと小池委員長は視察に行っておられます)、今回は福島。大きなイベントで各ロータリークラブ、インターアクトクラブの協力が必要です。主会場は松本のブエナビスタ。インターアクト委員長の小池先生が実行委員長を務められます。

※茅野ロータリークラブより高木菜那さんの講演の案内がありました。

■ 出席報告

会員数44名 出席免除会員5名 長欠会員1名 本日出席者21名 事前メイク0名
出席率55.26% 前回出席率 修正なし

■ クラブフォーラム

「国際奉仕委員会」

・委員長挨拶 杉本徳治国際奉仕委員長



氏名 XU WENJUN キョ ブンクンさん 出身国 中国

信州大学農学部博士課程の2学年生です。日本語での会話はできます。本日のテーマは「イエローアンズタケ分類学と人工栽培研究」についての発表です。キョさんの研究課題は、菌根性食用きのこであるアンズタケ属に関する分類と生態ならびに人工栽培技術の開発を目標に日々精力的に研究活動を行っています。このきのこは植物と共生する菌根菌であるため栽培が非常に難しいきのこですが、食用として様々な料理の素材となります。

博士課程2年目の今年7月に英国で開催された国際会議で研究成果を発表しました。

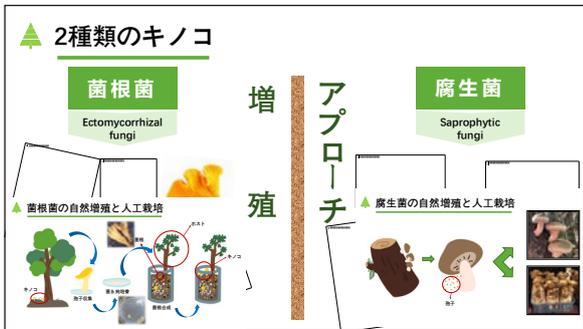
・卓話 支援留学生 キョ ブンクン様

「イエローアンズタケ分類学と人工栽培研究」について、パワーポイントを使ってプレゼンテーションをしてくださいました。



2024 イエローアンズタケ 分類学と人工栽培研究

信州大学大学院 応用真菌学研究室(D2)
XU WENJUN



菌根菌人工栽培の困難性

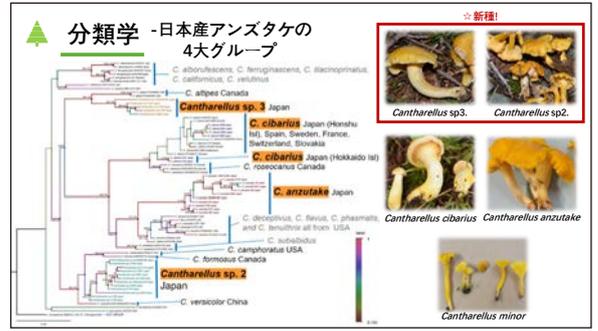
- 01 成長パターン
菌根菌の生育は複雑であり、その生理メカニズムはまだ完全に解明されていない。
- 02 共生
菌類と宿主植物の双方に適した生育環境を作る必要がある。
- 03 バクテリア
菌根形成に関与するバクテリアは非常に多様で、複雑な共生関係を形成している。
- 04 菌糸
菌根菌糸の純培養菌糸を分離するのは非常に困難である。

アンズタケの研究価値

アンズタケ (杏茸、学名: *Cantharellus* spp.) はアンズタケ属の小型から中型の菌根性食用きのこ。和名はアンズ (アブリコット) の香りを持つことからアンズタケとよばれる。

日本における知名度は一般に低いが、世界中(特にヨーロッパ)で食用菌として非常に重宝されている。フランスではジロールと呼ばれるアンズタケの亜種が重要な食菌として扱われている。現在日本で流通しているジロールは、ほとんどがフランスからの輸入品である。

富士山で採れた*Cantharellus* sp.2.
(2024. 07. 28)



生物地理学

中国 雲南 紫溪山 (E101°40' 58.04"/N25°02' 18.38")

日本 長野 仙丈ヶ岳 (E138°13'08.08"/N35°44'42.86")

ともよく似ている!

海抜: 2343m
主な宿主: 雲南松 (*Pinus yunnanensis*)
気候型: 内陸性気候
平均気温: 23°C
土壌Ph: 5.56

海抜: 2371m
主な宿主: 日本赤松 (*Pinus densiflora*)
気候型: 内陸性気候
平均気温: 21°C
土壌Ph: 5.68

菌根合成 - 菌糸体純培養と子実体人工培養

培養中の *Cantharellus anzutake* と *Cantharellus* sp.3 菌糸体

人工培養で得られた *Cantharellus anzutake* (NO.C23) 子実体

今後の計画

- DNA塩基配列解析**
進化ルートに関する情報をサポートするため、調査を通じてより多くのDNA塩基を収集し、存在するかもしれない新種を探索する。
- 菌糸体培養の最適化**
菌糸の増殖効率を高めるための培養条件の最適化。
- 分布パターン分析**
イエローアンズタケの分布と生育環境の関連性を探る。
- 菌根合成とアンズの人工培養に関する研究**
安定的にキノコを生産する人工培養方法を見つける。



■ 点 鐘 13:30

次回例会
1月14日(火) 点鐘 / 18:30 場所 / 海老屋料理店
・新年初例会